

第4回 草津市自転車安全安心利用促進委員会

日時：平成27年11月13日（金）午後2時～

場所：草津アマカホール2階 研修室

次 第

1 開 会

2 委員紹介

3 報 告

(1) 前回委員会（第3回）での意見等について（資料1）

4 議 事

(1) 草津市自転車安全安心利用促進計画（案）について

5 その他

次回の日程等について

6 閉 会

(添付書類)

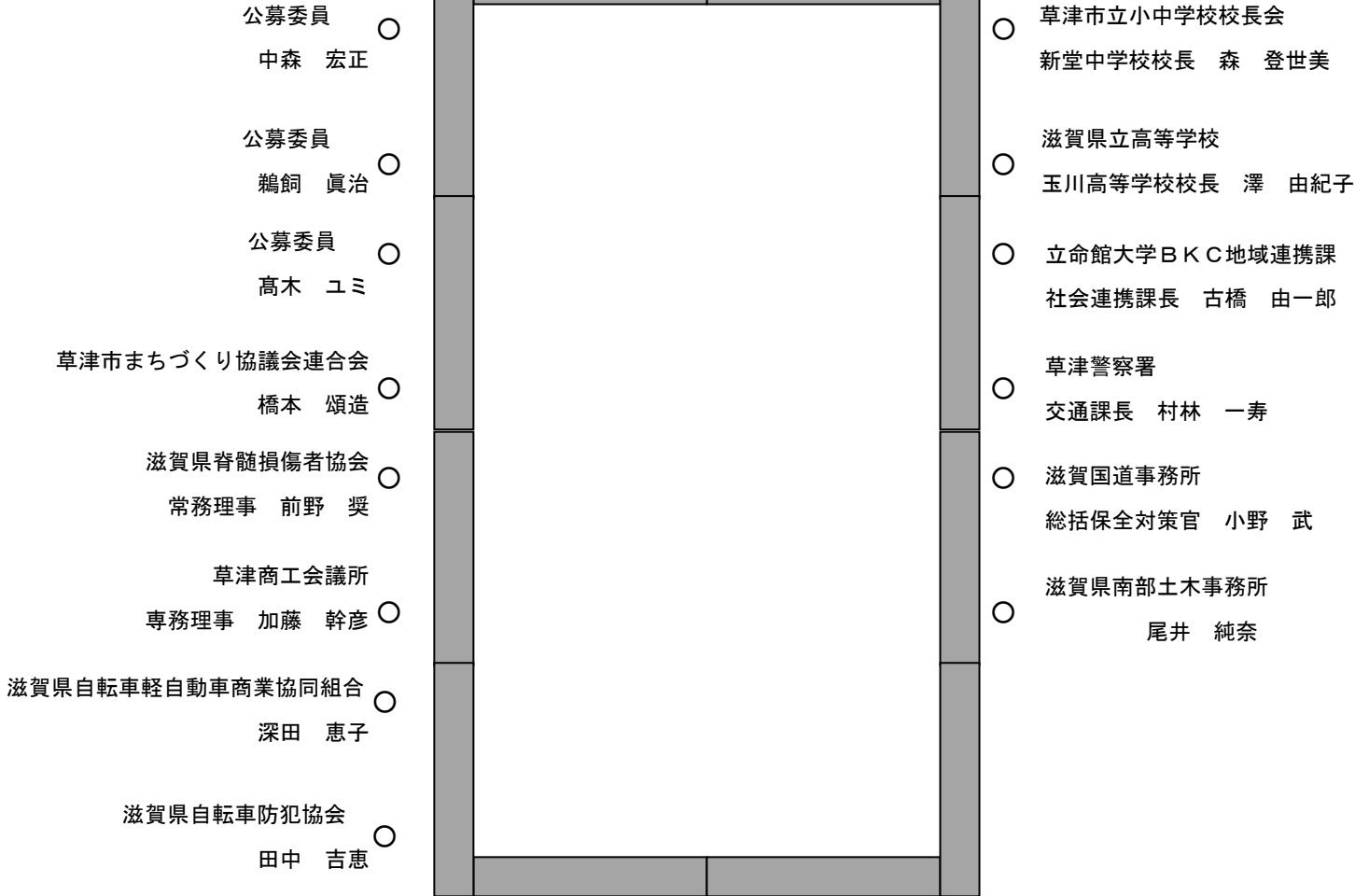
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表
- ・ 前回委員会（第3回）での意見等について（資料1）
- ・ 草津市自転車安全安心利用促進計画（案）
- ・ 草津市自転車安全安心利用教育マニュアル（案）
- ・ 整備例写真

「自転車安全安心利用促進委員会」委員名簿

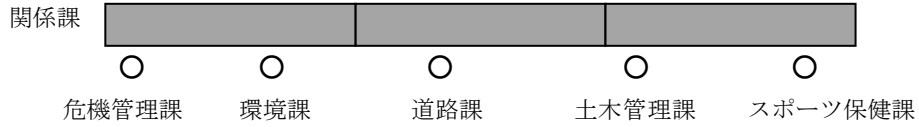
氏名	所属等
1 高 木 ユ ミ	公募市民
2 中 森 宏 正	公募市民
3 鵜 飼 眞 治	公募市民
4 森 登 世 美	草津市立新堂中学校 (草津市立小中学校校長会)
5 澤 由 紀 子	滋賀県立玉川高等学校 (滋賀県立高等学校)
6 古 橋 由 一 郎	学校法人立命館 BKC地域連携課
7 橋 本 頌 造	草津市まちづくり協議会連合会
8 前 野 奨	滋賀県脊髄損傷者協会
9 加 藤 幹 彦	草津商工会議所
10 深 田 恵 子	滋賀県自転車軽自動車商業協同組合
11 田 中 吉 恵	滋賀県自転車防犯協会
12 村 林 一 寿	草津警察署
13 小 野 武	国土交通省近畿地方整備局滋賀国道事務所
14 尾 井 純 奈	滋賀県南部土木事務所
15 小 川 圭 一	学識経験者

草津市自転車安全安心利用促進委員会

小川圭一委員長



藤本 林 松尾 川崎 青木



●前回委員会（第3回）での意見等について

○草津市自転車ネットワーク計画について

- ・地域単位のネットワークについて、玉川学区では安全対策に係る連絡会ができていますので、その地域の関係者らとともに作っていききたい。
→いろいろと地域ごとに特性があると思うが、特にこの地域は、自転車利用者が多いことから、モデル地区的に取り組んでいきたいものと考えている。
- ・JR草津駅前の商店街は交通量が多いのでネットワークに入れるべきである。
→アンケート結果ではネットワーク路線に含まれていなかったが、確かに交通量も多く見受けられるため、路線に加えるかを検討する。
- ・小学生ぐらいから自転車を利用されることを考えると、子どもから大人までわかりやすい計画にしていきたいと思います。
→自転車安全安心利用教育マニュアルも含め、できるだけわかりやすい計画にしていきたい。
- ・ネットワーク計画の計画期間はどれくらいか。
→費用や人員も伴ってくるため、慎重に進めていくことになるが、まずは短期計画として、平成32年度を目標に取り組んでいきたいと考えている。

○自転車安全安心利用教育マニュアルについて

- ・事例や自転車保険の紹介を入れてほしい。
- ・地域単位でのネットワークなどを活用しながら、草津市として特色のあるマニュアルを作っていけばどうか。
- ・教育マニュアルについての効果検証をする必要があるのではないか。
→最終的な効果は、事故件数がどれだけ減っているかになってくると思うが、市民アンケート等の機会を利用して、市民の自転車に対する意識がどうなったのかを確認していきたい。
- ・ヘルメットの着用について、モラルにだけ訴えてもなかなか被らない。手本を見せるため、ヘルメットを被らなければ自転車通勤を認めないようにすればどうか。
→スタントマンによる交通事故再現を行う自転車安全安心利用教室実施中学校において、生徒が主体となった自転車の安全利用の取組をモデル的に行ってもらおう。
- ・大人が被るヘルメットについて、スポーツタイプのヘルメットはあるが、日常で使うようなヘルメットはなかなかなく、あっても安全面に問題がある。
- ・特に女性は、ヘアスタイルを気にされて、ヘルメット着用には抵抗感を持たれている。
- ・ヘルメット着用は、行政の強制からではなく、自主的に被るものである。
- ・平成19年7月に自転車安全利用5則が制定され、子どもはヘルメットを着用することが道路交通法にも規定されているので、その内容をマニュアルに入れてはどうか。
- ・既に出版されている自転車の教本や、今回の教育マニュアル、また交通安全子ども自転車大会などを活用しながら、自転車の安全運転マナーを小さい時から習得させていけばよい。

